

写真 ニュース

発行：埼玉県生活協同組合連合会

埼玉県のマスコット コバトン



明けましておめでとうございます



11/19

第50回埼玉県消費者大会実行委員会 要請事項について 埼玉県と懇談しました



埼玉県と第50回埼玉県消費者大会実行委員会との懇談会が埼玉県 県民健康センターで開かれ、10月の消費者大会で要請していた事項について、質疑応答がおこなわれました。実行委員会参加の16団体26人、県からは8部局31人が出席しました。

12/2

平成26年度埼玉県消費生活功労者表彰 生協から 4人が受賞しました



12月2日、埼玉県消費生活功労者表彰式が埼玉県知事公館でおこなわれ、消費者団体関係13人が上田清司知事より表彰されました。生活協同組合関係では4人が受賞しました。

Top
News
10/21

50年の歩みを確信に 平和で安心してらせる社会をめざして 1200人が参加し第50回埼玉県消費者大会が開催されました

第50回埼玉県消費者大会(大会実行委員会主催・埼玉県後援)が埼玉会館で開催され、1200人が参加しました。1965年の「埼玉中央婦人大会」からこれまでの歩みの映像上映で始まり、来賓の上田清司知事の挨拶、ノーベル賞の大江健三郎さんが「私の人生を貫いているもの」と題して講演されました。午後は、5つの分科会に約600人が参加し、50回にふさわしい活発な大会となりました。



11/8-9

2014彩の国 食と農林業ドリームフェスタ 県内の5生協と 県生協連が出展しました



2014彩の国 食と農林業ドリームフェスタ(彩の国食と農林業の祭典実行委員会主催)が所沢市の航空記念公園で開催されました。埼玉県生協連はこの催しを後援し、コープみらい、パルシステム埼玉、生活クラブ生協、医療生協さいたま、さいたま高齢協の5生協と共に出展参加しました。

11/14

介護保険制度改定 新しい地域支援事業で 埼玉県と懇談



介護保険制度改定・市町村による新しい地域支援事業の創設を前に、埼玉県との懇談をおこないました。県(高齢介護課)より、介護をめぐる現状と地域包括ケアシステムの構築について説明いただき、生協からは、生協の概要と福祉事業・助け合い活動の取り組みの現状を報告し、懇談しました。

11/12

原発再稼働にNO! さいたま市で 2014さよなら原発埼玉県民集会

「2014さよなら原発埼玉県民集会」(さよなら原発埼玉県民集会実行委員会主催)がさいたま市の埼玉会館で開催され、800人が参加しました。原発再稼働の動きが強まる中、脱原発弁護団全国連絡会共同代表の海渡雄一弁護士が「大飯原発差止め判決の意義」を講演、秩父市で脱原発運動に取り組むダニー・ネフセタイさんなど地域での取り組みが報告されました。



広がる県内生協の 多彩な活動



コープみらい

「コープみらいフェスタinスーパーアリーナ」を開催しました

11月2日、さいたまスーパーアリーナとけやきひろばで、医療生協さいたま「健康フェスタ」、「さいたまTHE(地)スイーツフェア」、「国際フェア2014」と同時開催しました。会場には230を超える団体が出展。約6万人の組合員、県民の皆さんをはじめ、埼玉県副知事、さいたま市副市長などにもご来場いただきました。食育をテーマにお取引先約80社による試食・販売、食育体験、事業やくらしの取り組みの紹介、震災復興支援団体による出展などでお楽しみいただきました。

医療生協さいたま

健康フェスタで6万人に医療生協をアピール！ ～健康づくりの体験型ブースが大盛況

11月2日、さいたまスーパーアリーナで恒例の健康フェスタ(4団体同時開催)が行われ、「からだイキイキ健康収穫祭」をテーマに、さまざまな健康づくり体験を企画しました。

足指力、握力、加齢黄はんなどの健康チェックのほか、医師・看護師などによる健康相談、下肢の筋力をきたえる運動の指導、ノルディックウォーキング、AED(自動体外式除細動器)体験、救急車試乗など、医療生協ならではの企画に列ができ、安心ルームを再現した小物作りや姿勢分析、動体視力も盛況でした。



パルシステム埼玉

秋の大イベント センター祭り 「青空市」を開催しました!

10～11月、組合員のみなさんや地域の方々に感謝の気持ちを込めて県内8か所の全配送センターで「青空市」を開催しました。毎年大盛況の産直野菜の販売やパルシステム商品の試食、お楽しみ企画としてこんせんくんと写真撮影、巨大迷路やトラックで配送体験など、それぞれのセンター職員が工夫を凝らしおもてなしました。どの会場でも多くの来場者で賑わい、パルシステム埼玉への理解を深めていただく良い機会となりました。

写真:川越センター「青空市」の様



生活クラブ生協

組合員の思いが原動力 ～広がる組合員の自主参加

今年度4～11月末までに開催された交流会、見学会、自主監査等は75回。この他に保障、葬儀、エネルギー等も50企画以上、企画開催されました。企画は対話形式、調理有、祭形式(販売有)と様々ですが、組合員が企画し作り手と直接対話して、消費材への思いや価値を見出しています。消費材を利用することで国産自給力もプラスに、フードマイレージも短くなってエコにも貢献。組合員の「知りたい」「学びたい」の追求力が生活クラブの源です。

写真:山形JAさがえの生産者との交流(10月・くらぶメゾン 鶴ヶ島)



さいたま住宅生協

住まいの学習講座を開催

さいたま住宅生協は、今年度の学習計画に基づいて連続講座を開催しています。「住宅生協の目指す家とは」「円満相続をするには」と題し第1回を6月7日、さいたま市の市民会館うらわで開催したのを皮切りに、10月18日、With Youさいたまで第2回目の講座を開催しました。次回は、2月14日「川口リリア」で第3回目の住まい講座を開催します。



子どものその保育生協

好天に恵まれ、大バザール大成功!

雨で一週間延期した子どものその大バザールが11月16日、暖かな秋晴れに恵まれた中、たくさんの市民のみなさんに来ていただいて開催されました。今年から地域班ごとのフリーマーケット方式から、部門別の店に変えたのも好評で、準備から当日の後片付けまで、お父さん・お母さんのボランティアのみなさんの熱意に応えるように、終日いっぱいのお客様でした。



コープネット事業連合

沖縄県伊平屋島の自然環境保全などに役立てるため、161万円を寄付

11月2日、「美ら島応援もずくプロジェクト」として集まった161万219円を沖縄県伊平屋村に贈呈しました。コープネットは2010年、伊平屋村、伊平屋村漁協、(株)海産物のきむらや、日本生協連と、島の自然環境保護のための連携に関する覚書を締結。「コープネット美ら島応援基金」を設置し、もずく1点お買い上げにつき1円を伊平屋村に寄付し、自然環境・生物多様性の保全、村の振興と活性化に活用されています。

写真:左から伊平屋村漁協の諸見富男代表理事組合長、伊礼幸雄伊平屋村長、コープネットの赤松光理事長

